

東京トラック同盟

労働力確保が重要

東京トラック同盟協同組合（下川芳延理事長）

の新年懇親会が21日に東京都内のホテルで3年ぶりに行われ、山崎孝明江東区長や竹ノ内實東ト協

連専務理事など多くの来賓が祝辞にかけつけ新

な年を祝った。下川理事

長は事業経営の環境に厳しく吹く向かい風を吹き

飛ばす激励を年頭のあいさつに込めた。

「1970年代に起き

たオイルショックは燃料

の調達ができず、円は1ドル360円の時代だった。下川理事長は一喜一憂せず、どしり構え



3年ぶりの新年懇親会であいさつする下川理事長

備えるべきことを成そうとの考えを示した。その一つが若年層を中心とした労働力確保と従業員の定着。

そのための選ばれる会社づくりが大切だとして「働き方改革で苦しむのではなく、運転者を守る施策と考える努力しよう」と述べた。

質上げしやすい環境を整えるため、燃料価格の高騰分を転嫁するなどの取り組みを求めた。そして、組合はその努力の一助

になれるよう相談に寄り添っていくことをあいさつで強調した。

昨年6月に警視総監表彰を受賞した鈴木健之副理事長へ組合からのこの日、感謝状が下川理事長より手渡された。「事故防止などへの取り組みは組合の地位向上に寄与した」とたたえた。

そのほか山崎区長は江東区独自の運送事業者向け燃料高騰対策補助金などあらためて説明、竹ノ内専務理事は東ト協連の燃料共同購入事業など各種事業を紹介した。